

# 令和5年度 新潟市西区社会福祉協議会 事業計画

## <基本方針>

コロナ禍以降、社会的環境等の変化から生じる様々な地域生活課題に対し、住民主体で助け合えるしくみの体制整備について、地域住民はじめ関係団体と協働する、新潟市西区地域福祉計画・地域福祉活動計画「第3次いきいき西区ささえあいプラン」の地域別計画が、地域住民の皆様、自らの計画として展開されるよう、主体形成を軸に地域に寄り添った支援を進めます。また、プランを進める地区社協への助成とともに住民懇談会を実施し、福祉コミュニティの育成とボランティア実践の活性化を図り、地域コミュニティ及び関係機関等とのネットワーク化と福祉教育実践を多機関協働で進めます。

## <基本目標>

### 1 「孤立を見逃さない地域づくり」を実現するために

性別や年齢、考え方などの多様性を認め合い、誰もが地域でつながりをもちながら生活できるよう、住民主体の取組みを支援します。

#### 方針1 住民主体の支え合う社会の実現

「声なき声」や少数意見等の潜在的なニーズも受け止め、地区社協、地域コミュニティ協議会（以下「コミ協」という。）や自治会・町内会などと協働して、地域共生社会づくりに向けた取組みを広げていきます。

#### 方針2 福祉教育の推進

すべての人がかけがえのない存在として尊ばれるよう、地域住民とともに学び合い、「共に生きる力」を育みます。

#### 方針3 地域福祉活動の担い手育成

地域福祉の担い手となる人材の育成・確保に向けて、ボランティア意識の醸成と活動への参加が促進されるよう情報提供の機会を拡げます。

#### 方針4 総合相談機能の強化

地域住民のだれもが、生活における困りごとや気がかりなことを、相談につなげることができる地域づくりを目指します。

### 2 「ネットワークを活かした一人ひとりの困りごとの解決」を実現するために

さまざまな組織・関係機関をつなぎ、あらゆる分野のネットワークを活かして、重層的な連携・協働により、地域生活課題解決に向けた支援を行います。

#### 方針5 重層的な包括支援体制の整備

把握した地域生活課題を、地域住民や地域包括支援センターなどの多様な組織、支援機関と連携・協働し、柔軟かつ迅速に活動できるネットワークを構築して課題解決を図ります。

#### 方針6 先駆的な事業の実施

コミュニティソーシャルワーク機能を駆使して、生活困窮者や制度の狭間のニーズに積極的に関わり、丁寧な個別支援と課題解決のための新たな社会資源の開発等によって、社会的援護が必要な人の地域生活を支えます。

#### 方針7 地域福祉推進のプラットフォームづくり

部門を超えた連携により、社協が有する資源やネットワークを活かしながら、総合力を発揮して地域生活課題の解決に努めます。

#### 方針8 生活全体のアセスメントを通じた協働実践

寄せられた相談を、他の関係機関につなぐと同時に社協の支援を終結させることなく、ともに支援や見守りを継続します。

### 3 「信頼され、安定した区社協運営」のために

事業運営の透明性を確保し、積極的な広報・情報発信を行い、区社協への理解をより一層区民に周知していくとともに、会員会費（一般会費・賛助会費）をはじめとした自主財源の安定的な確保に努めます。

#### ○令和5年度事業計画策定の留意事項（新潟市社会福祉協議会）

- (1) コロナ禍・物価高騰により急増した生活困窮者への支援
- (2) ポストコロナ社会を見据えた、住民主体のボランティア活動の推進と、地域での孤立を防ぎ、支えあう活動の支援
- (3) あらゆる地域生活課題を見逃さない姿勢と部門を超えた連携・協働
- (4) こどもや子育て家庭の変化や課題を的確に捉え、居場所をはじめとした多様な取り組みの支援
- (5) 地域住民との信頼関係を築くことをねらいとした事業や活動の可視化

## ＜主な事業の概要＞

※（ ）内は事業の主な財源と予算額

### 方針1 住民主体の支え合う社会の実現

- (1) 地区社協活動交付金事業 (一般会費 2,854 千円)  
前年度一般会費納入額の30%を地区社協の活動費として交付します。
- (2) 地域福祉活動計画推進事業 **重点** (一般会費 507 千円)  
地区社協会長・事務局長会議を開催し、地区社協の活動や状況等について情報共有を行います。15 地区全てに設置された地区社会福祉協議会の取り組み支援、連携強化をしていきます。  
西区地域福祉計画・地域福祉活動計画「第3次いきいき西区ささえあいプラン」(以下「プラン」という。)の3年目にあたり、15 地区の「地区懇談会」に参加し、地域別計画の取り組みを支援します。また、プランの取り組みを進める地区社協に対し、助成を行います。
- (3) 地域ふれあい助成事業 (一般会費 1,249 千円)  
お互いに顔がわかる関係の構築と、生きがいや社会参加の場づくりを目的として自治会・町内会や地区社協・コミ協が主体となって実施する「世代交流」、「いきがい推進」、「ふれあい給食」、「障がい者交流」の各事業に対し助成を行います。  
また地域でのスマホ教室等実施に助成するため「デジタル推進」を対象に追加します。  
※前年度に続き、訪問型の活動にも助成を拡大します。
- (4) 歳末たすけあい助成事業 (歳末たすけあい配分 2,963 千円)  
歳末たすけあい募金の配分事業として、歳末時期に地域や施設で行われる世代交流事業等に助成を行います。(対象期間：10月～1月末)  
※前年度に続き、訪問型の活動にも助成を拡大します。
- (5) 友愛訪問事業 **拡充** (共同募金配分 1,801 千円)  
見守りが必要な概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、孤独感の解消や安否確認を目的として、定期的に地域のボランティアが対象者宅を訪問します。友愛訪問の意義を再確認し、実践者自身の主体形成を図れるよう、実践内容にエピソードを交えた冊子を発行し、更に取り組みを広める契機として実践者の活動報告の機会を持ちます。
- (6) おせち料理宅配事業 (歳末たすけあい配分 1,814 千円)  
友愛訪問事業の対象者へ、年末に地域のボランティアがおせち料理を持って訪問し、年末年始の孤独感の解消と安否確認を行います。

(7) サロン支援・助成事業 (市補助金 1,402 千円)

地域での居場所づくりを立ち上げから支援するとともに、定期的に行われる地域の茶の間(いきいきサロン)に対し、運営費の助成を行うとともに、実施団体の情報交換会を実施します。

(8) 子育て支援事業 (共同募金等 845 千円)

子育て支援として、地域で子育てを見守るための多世代交流の場づくりや子ども食堂の立ち上げを支援するとともに、実施している団体に対し運営費の助成を行います。

(9) 未来の豊かなつながりづくり事業 (市補助金 1,098 千円)

コロナ禍で進む社会的孤立や生活困窮への支援に取り組むボランティアや NPO 団体の取り組みに対し、前年度に続き「地域課題解決に向けた活動助成」を行います。地域でデジタル格差を解消できる「教えることができる人材」を育成するため、スマホサポーター養成講座を開催します。

(10) 緊急情報キット配布事業 (賛助会費 5 千円)

高齢者等の緊急時・災害時に、救急隊員等がその方の医療情報や緊急連絡先を迅速に把握するため、冷蔵庫に入れる筒型の情報キットを、自治会・町内会を通じて配布することで見守りの活動のきっかけとします。

## 方針2 福祉教育の推進

(11) 福祉教育推進事業 (市補助金 60 千円)

学校での総合学習や企業・地域からの依頼により、地域の社会資源等を有機的につなげる福祉教育を実践するとともに、様々なテーマで出前講座を実施します。

(12) 福祉啓発事業 **拡充** (一般会費 94 千円)

「LGBTQ」「ヤングケアラー」「司法と福祉」等の近年話題となっているテーマや「子育て・子育て」等についても取り上げ、地域住民に知ってもらう機会をつくとともに、企画・運営を通じて支援団体関係者との協働を進めます。

(13) 西区地域福祉推進フォーラム (一般会費・賛助会費 334 千円)

地域住民が相互に支えあう地域のつながりの構築を図るため、地域住民の福祉活動への理解と意識を高めるきっかけづくりの機会として、時勢の福祉課題をテーマにフォーラムを開催します。

### 方針3 地域福祉活動の担い手育成

#### (14) 西区ボランティア・市民活動センター運営事業 (市補助金 466千円)

ボランティア・市民活動に関する相談・情報提供などを行うセンターとして、情報誌「ぼらちゃん」と「西区きらりんだより」の合体版を年に2回発行します(広報事業と按分)。

また、西区内のボランティア・市民活動がより活発になることを目的に、多種多様な機関・団体からなるボランティア・市民活動センター運営委員会を開催し協議します。

#### (15) ボランティア・市民活動育成事業 (市補助金 232千円)

あらゆる世代の区民がボランティア・市民活動に関心を寄せ、西区におけるボランティア活動の裾野が広がり、活動が定着することを目的として講座等を開催します。

#### (16) 元気力アップサポーター事業 (法人会計/市受託事業)

高齢者がサポーター活動を通じて社会参加することで、より元気になっていただくことを目的に行います。随時、サポーター説明会を開催するとともに、区社協が特例で活動場所を設ける応援事業も実施します。

#### (17) 思いやりのひとかき運動事業

12月～2月の冬期間、地域での思いやりと助け合いの心を育む運動として、西区役所建設課と協力し、バス停や交差点などに除雪のためのスコップを設置します。

### 方針4 総合相談機能の強化

#### (18) 日常生活自立支援事業「あんしんサポート」(法人会計)

判断能力が不十分な方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、生活支援員による福祉サービスの利用援助や支払い手続き等の支援を行います。

#### (19) 生活福祉資金貸付事業 (県社協受託)

低所得世帯等に対し、低利での資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより経済的自立や社会参加の促進を図り、その世帯の安定した生活を確保することを目的に、区社協が窓口となって相談・貸付の手続きを行います。

#### (20) 高校進学のための相談支援事業

支援を必要とする子ども及びその世帯の孤立状態を防ぐことを目的とし、区内の各中学校へ出向き、高校進学に必要な経済的支援の一覧表(奨学金等の情報)

の周知及び配布を行い、制度の利用を含めて相談支援します。

## 方針5 重層的な包括支援体制の整備

### (21) 地域包括ケア推進事業（市受託金 709 千円）

第1層のSCを配置し、第2層のSC及び西区役所と連携し、社会資源の把握・開発や区域内関係機関との連携に努め、地域での支え合いのしくみづくりに取り組みます。（SC＝支え合いのしくみづくり推進員）

## 方針6 先駆的な事業の実施

### (22) コミュニティソーシャルワークの推進 **重点**（寄付金・一般会費 948 千円）

コミュニティソーシャルワーカーを中心に、個別課題への支援と地域における福祉活動の相談や情報提供を行います。多職種連携・情報共有の場としてにし Co. Mi. NET を開催します。

「西区ひきこもりびとミーティング」について、引き続き連携していきます。また、eスポーツなど新しい「参加支援」の取り組みを進めます。

### (23) ボランティアサロン「じょいなす」 予算は上記（15）内

生きづらさを抱えた人やひきこもり状態の人が社会へ一歩踏み出せる場として、ボランティアサロン「じょいなす」を継続開催します。

## 方針7 地域福祉推進のプラットフォームづくり

### (24) 法人連携推進事業 **新規**（一般会費 200 千円）

各種社会福祉法人の強みを活かした、地域住民組織や学校等との連携強化から福祉教育の推進とを併せ、地域の福祉力増強とその推進を図ります。

### (25) 災害ボランティアセンター運営事業（市補助金 220 千円）

西区災害ボランティアセンターについて、地域組織・住民を対象とした講演会を実施します。また、連携強化のために災害ボランティアセンターネットワーク会議を開催します。

## 方針8 生活全体のアセスメントを通じた協働実践

### (26) 西区子ども学習支援事業（市受託金 3,219 千円）

生活保護世帯及び低所得者世帯の中学生等に対して進学的重要性・持続的な学

習習慣を身につけることを目的とする学習会（土曜1回・日曜2回）のため、大学生サポーターを募集、登録し、コーディネートを行います。

## 方針9「信頼され、安定した区社協運営」のために

### (27) 広報事業 **拡充**（一般会費・賛助会費 442千円）

広報紙の発行を年2回に増やすとともに、区民に社協や地域の活動を周知できるよう、紙面内容を変更します。紙面で懸賞を兼ねたアンケートを実施します。また、コミ協広報紙への区社協記事掲載依頼を行います。ホームページ・SNSを活用し活動の様子を発信します。

### (28) 社協一般会員会費及び賛助会員会費の安定確保

区社協事業の財源となる会員会費について、あらゆる機会を捉え、区民、自治会・町内会、福祉団体及び企業等に対し、社会福祉協議会の事業等の周知に努め、会員会費の確保に努めます。

### (29) 理事会機能の充実・強化

区社協の運営、事業執行に多様な意見を反映させるため、理事会や委員会を開催し、より開かれた区社協運営を図ります。

### (30) 職員研修（StudyWest）の強化 **拡充**

様々なテーマで月1回職員研修の機会を設け、学びを深め実践に活かします。

## その他

### (31) 民生委員児童委員との連携・協力

地域福祉の担い手である民生委員児童委員への社協事業・活動の理解を深め、協働をさらに進めるため、毎月の西区民生委員児童委員会長連絡会および地区定例会に参加します。

### (32) 赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動への協力

区社協に新潟県共同募金会新潟市共同募金委員会西区分会の事務局を置き、赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金情報の発信に努めます。